

長期戦略:テーマ 「質の高い就労」の実現」

提出日 2022年11月1日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	森キャリアセンター長 (キャリアセンター)	実施計画の 担当部署	キャリアセンター
-----------------------	--------------------------	---------------	----------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(2)-⑤ 新たなキャリア教育の構築	2021年度	2024年度	必要なし	不要
内容				
<p>■日本経済団体連合会の「採用選考に関する指針」の廃止、多様なインターンシップへの参加学生の増加と企業の採用活動の早期化、通年採用など新卒一括採用の見直しやジョブ型採用を見据えた産学による今後の採用のあり方の検討等を背景として、新卒採用をめぐる環境が大きく変化している。また、2020年度に発生した新型コロナウイルス感染症は、これまでの社会常識を根底から覆し、採用活動を含めた企業活動にインパクトを与え、学生の就職活動や入社後の働き方へ大きな影響を及ぼすこととなった。</p> <p>■採用選考のオンライン化やリモートワークが、日本と世界、都市部と地方のボーダレス化を一気に進めたことで、すべての学生にとって、より高度な能力や資質を身につけることは重要となり、そのためにはすべての低年次生へ早い段階で将来へ向けたキャリア意識を醸成することが急務となった。</p> <p>■キャリアセンターが、キャリア教育を実施(ハンズオン・ラーニングセンター(以下 HoLC)からキャリアセンターへキャリア教育科目を移管)することで時代の要請をリアルタイムに反映した学生の育成を行う。特に基盤科目として「KGキャリア入門(仮称)」を新設しe-Learning化することで1,2年次の低年次生に対して学業への動機づけや将来を見据えたキャリアデザインを低学年次生全員に提供可能なよう再編する。さらに、現在開講している授業科目の整理、統合等再構築を行い、年次進行にあわせて開講していく。</p>				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	「KGキャリア入門」の履修者数	プログラム室が提供する「KGキャリア入門」を履修した学生数		
指標2	学生満足度	プログラム室が提供するライフデザイン科目群を履修した学生の満足度 (「学修行動と授業に関する調査」の間6:全体として、この授業に満足していますか)		
指標3				

目標1<指標1>「KG キャリア入門」の履修者数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
目標	指標の検討	800名	1000名 ※成績評価体制を整備 後、目標を再設定	1200名 ※成績評価体制を整備 後、目標を再設定		
実績	—	7,402名 ※春学期のみ				

目標2<指標2>学生満足度

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
目標	指標の検討	4.5以上	4.5以上	4.5以上		
実績	—	—				

目標3<指標3>

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
目標						
実績						

2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「KG キャリア入門(仮称)」 の設置と「キャリアデザイン科目群」の再構築	策定段階	—	—	・E-Learning 化に向けたシステム開発 ・キャリアデザイン科目群の再構築 ・学則改正	・「KG キャリア入門」開設、運用 ・キャリアデザイン科目群の開講	・「KG キャリア入門」運用 ・キャリアデザイン科目群の開講
	2023年3月末段階	—	学院総合企画会議にて 予算承認	大学評議会での承認	「KG キャリア入門」の運用 方法の検討	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	・「KG キャリア入門」運用 ・キャリアデザイン科目群の開講	・「KG キャリア入門」運用 ・キャリアデザイン科目群の開講 ・検証の上状況に応じて見直しを行う	・「KG キャリア入門」運用 ・キャリアデザイン科目群の開講 ・検証の上状況に応じて見直しを行う	・「KG キャリア入門」運用 ・キャリアデザイン科目群の開講 ・検証の上状況に応じて見直しを行う	
	2023年3月末段階	—				
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
キャリア教育プログラム室 の設置	策定段階	—	—	・キャリア教育プログラム室の設置準備	完了	—
	2023年3月末段階	—	—	7月キャリア教育プログラム室設置(完了)	完了	
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	—	—	—	—	
	2023年3月末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	2025年度	2026年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	2025年度	2026年度	左記以降
非公開							

4. 進捗状況・得られた成果

2021 年度	7月の大学評議会でキャリア教育プログラム室の設置が認められ、10月の教務委員会でキャリア教育プログラム室開講科目が承認された。
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	
2025 年度	
2026 年度	

5. 今後の課題及び方向性

2021 年度	4月教務委員会、5月大学院教務学生委員会にてキャリア教育科目のハンズオン・ラーニングセンターからキャリアセンターへの移管が承認。7月キャリア教育プログラム室設置承認。10月教務委員会でプログラム案承認の予定。KGキャリア入門の授業や成績評価を勘案し非常勤教員を検討する。
2022 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「KGキャリア入門」は、低学年次生を中心に履修定員を設けない形でスタートしたが、2022年度春学期で7,402名と想定を大幅に上回る履修者となった。これにより、毎週の提出課題（5つのキーワード）と学期末のレポート試験（400字）の成績評価を担当講師2名で分担の上進めてきたが、膨大な業務量（約37,000ワードおよび296万字の評価）のため担当講師へ大きな負荷がかかった。春学期途中からは巴波先生（工学部）の協力を得ることで剽窃チェックの仕組み等を導入することで作業負荷の軽減に努めている。 ・また、オンライン授業としての質を担保するために、安定した映像配信、本人確認の精度向上、視聴させる仕組みの構築等を進めるため、巴波先生および総合企画部と協議し、次年度はAI活用人材のバーチャルラーニングシステムによる作業負荷軽減および成績評価の自動化の仕組みを導入することを検討する。
2023 年度	
2024 年度	
2025 年度	
2026 年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2020 年度	新たなキャリア教育の構築を認めます。なお、概算費用については、大学評議会における承認を得られた後、執行可能とします。
2021 年度	新たなキャリア教育の実施を認めます。 専任職員 2 名については、配置する方向として、人事部にて対応します。
2022 年度	2022 年度より新規開講されたオンデマンド授業の安定運用のためのコンテンツ更新費、運営委託費、フォローアッププログラム運営費を認めます。 また、専任職員 1 名および契約職員 1 名の継続配置を認めます。
2023 年度	
2024 年度	
2025 年度	

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
—	継続 ・ 廃止	—

【フェーズ II (2022~2024)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	